

講義名:	学科研修 I A	講義時間数: 15時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示・後田 祥吾	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	学校生活において必要な人間性やルールをプレゼン形式で学ぶ。また、学力テストやPC設定など今後の生活において必要な事項を実施する。		
到達目標:	公務員・社会人にとって必要なメンタリティや人間性を学び、今後の学生生活の基礎をつくる。 学力テストを通して、基礎的な学力の確認、および勉強の仕方を身に付ける。 職業理解を通じて自分自身の視野を広げる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目			
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:			

講義名:	セルフマネジメントIA-①	講義時間数: 76時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	後田 祥吾・安廣 啓示	単位数: 5単位	学年: 1年
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。		
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化		
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	数的推理 I A-①	講義時間数: 32時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示・後田 祥吾	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	追試日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。		
到達目標:	基本的な計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な姿勢を身に着ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	対比①		
2回目	対比②		
3回目	対比③		
4回目	対比④		
5回目	対比⑤		
6回目	割合①		
7回目	割合②		
8回目	割合③		
9回目	割合④		
10回目	利益算①		
11回目	利益算②		
12回目	濃度算①		
13回目	濃度算②		
14回目	濃度算③		
15回目	試験対策		
16回目	単位認定試験		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	判断推理 I A-①	講義時間数: 32時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合) 日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える		
到達目標:	問題を解くプロセスが、仕事を進めていくプロセスとにしているため、どのような段取りを進めれば いいかななどを推理し完成させるための判断を身につける。チームでの教え合いを通して、コミュ ニケーション力、献身的な考え方を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション		
2回目	対応関係(講義・演習)		
3回目	対応関係(講義・演習) + 確認テスト		
4回目	対応関係(講義・演習)		
5回目	対応関係(講義・演習) + 確認テスト		
6回目	試合と勝敗(講義・演習)		
7回目	試合と勝敗(講義・演習) + 確認テスト		
8回目	試合と勝敗(講義・演習)		
9回目	試合と勝敗(講義・演習) + 確認テスト		
10回目	順次順序(講義・演習)		
11回目	順次順序(講義・演習) + 確認テスト		
12回目	順次順序(講義・演習)		
13回目	順次順序(講義・演習)		
14回目	順次順序(講義・演習) + 確認テスト		
15回目	順次順序(講義・演習)		
16回目	順次順序(講義・演習) + 確認テスト		
授業教材等:	オリジナルプリント、公務員ゼミナール(判断推理)		

講義名:	政治経済 I A-①	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童 望未・種村 誠	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合) 日時未定 講義時間数の80%以上出席必要		
備考:	試験日に公欠(又は公欠に準ずる欠席が認められる場合、後日に試験受験が可能。 授業内確認テストの再テスト、再々テストを放課後に実施する場合あり。 放課後の再テスト等無断欠席の場合は授業時間欠席に相当させる可能性あり。		
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する。 オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングする。		
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身に付け、日本および世界のニュースに対する自らの意見をもつ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。 チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に付ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション(授業のすすめ方・勉強方法について)		
2回目	大日本帝国憲法と日本国憲法①		
3回目	大日本帝国憲法と日本国憲法②		
4回目	大日本帝国憲法と日本国憲法③		
5回目	大日本帝国憲法と日本国憲法④		
6回目	大日本帝国憲法と日本国憲法⑤ 確認テスト		
7回目	基本的人権①		
8回目	基本的人権②		
9回目	基本的人権③		
10回目	基本的人権④		
11回目	基本的人権⑤ 確認テスト		
12回目	需給曲線①		
13回目	需給曲線②		
14回目	需給曲線③ 確認テスト		
15回目	単位認定試験		
16回目			
授業教材等:	オリジナルテキスト		

講義名:	ヒューマンスキルプログラム I	講義時間数: 64時間	受講コース名: 全コース
担当:	小童 望未・坂上 弘次・安廣 啓示 ・種村 誠・西本 麻衣	単位数: 4単位	学年: 1年
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	4/3(水)~4/8(月)の4日間で新入生研修 I を実施 4/15(月)~4/19(金)の5日間の午後で新入生研修 II を実施 4/22(月)・4/23(火)の2日間で閑谷学校での宿泊研修を実施		
講義概要:	新入生研修 I では5つの約束・共通ルール・掃除・挨拶といった社会人としての基本的マナーや人間性の基礎を学ぶ。 新入生研修 II ではチームとしての考え方や行動の仕方を学ぶ。 宿泊研修では新入生研修の集大成として、学んだことを実践する。		
到達目標:	専門学生だけではなく、社会人としての基礎・基本を学び、社会人にふさわしい人間性を身に付ける。 チームや集団として行動していく中で、個人の役目や役割を意識した行動や言動が採れるようになる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	新入生研修 I (5時間) …5つの約束、ルール、気を付け礼	17回目	
2回目	新入生研修 I (5時間) …明元素・ヨイオアシス、掃除	18回目	
3回目	新入生研修 I (5時間) …ケーススタディ、研修スタッフスピーチ	19回目	
4回目	新入生研修 I (5時間) …スピーチ、入学式リハーサル	20回目	
5回目	新入生研修 II (2時間) …チームビルディング①	21回目	
6回目	新入生研修 II (2時間) …チームビルディング②	22回目	
7回目	新入生研修 II (2時間) …チームビルディング③	23回目	
8回目	新入生研修 II (2時間) …宿泊研修の注意事項	24回目	
9回目	新入生研修 II (2時間) …新入生歓迎会	25回目	
10回目	宿泊研修(14時間)	26回目	
11回目	宿泊研修(8時間)	27回目	
12回目	4/26(金) 宿泊研修の振り返り	28回目	
13回目	5/17(金) PSAについて	29回目	
14回目	5/31(金) 地域清掃活動	30回目	
15回目	6/14(金) OBOG座談会	31回目	
16回目	7/12(金) レジリエンス(100日後の振り返り)	32回目	
授業教材等:			

講義名:	選択科目A(動画作成)	講義時間数: 38時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	この授業では、動画編集の基本原則から始めて、プロフェッショナルな技術やツールを習得します。映像の編集テクニックや効果の適用方法、ストーリーテリングの重要性などを実践的に学び、クリエイティブな動画制作のスキルを身に付けます。最新のソフトウェアを使用し、実践的なプロジェクトを通じて学びを深めます。		
講義概要:	この授業では、動画編集の基礎から応用までを網羅し、無料アプリを使用して実践的な技術を学びます。映像編集の基本原則や効果の適用方法、ストーリーテリングの重要性などに焦点を当て、実践的なプロジェクトを通じてクリエイティブな動画制作のスキルを磨きます。		
到達目標:	動画編集アプリを自信を持って操作できる能力を身に付ける。 映像編集の基本原則や技術を理解し、クリエイティブな編集スキルを獲得する。 動画制作におけるストーリーテリングの重要性を理解し、ストーリーの構築能力を向上させる。 地域の魅力を見つけ配信する		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	動画編集の基礎概念の紹介とアプリのインターフェース	17回目	第16回から第19回までは、学生が個々のプロジェクトに取り組み、必要に応じて指導やアドバイスを受ける時間を設ける。
2回目	動画素材のインポートとプロジェクトの設定	18回目	
3回目	タイムライン上での基本的な編集操作とトリミング	19回目	
4回目	カットやトランジションの追加と編集テクニックの応用	20回目	
5回目	オーディオ編集と音声エフェクトの追加	21回目	
6回目	カラーグレーディングと色調補正の基本	22回目	
7回目	タイトルとテキストの追加と編集	23回目	
8回目	エフェクトの追加と調整	24回目	
9回目	キーフレームの使用とアニメーションの作成	25回目	
10回目	マルチカメラ編集とシーケンスの管理	26回目	
11回目	グラフィックスやローサードの追加とカスタマイズ	27回目	
12回目	プロジェクトのエクスポートとフォーマットの選択	28回目	
13回目	オンラインプラットフォームへの動画のアップロードと共有	29回目	
14回目	学生プロジェクトの発表とフィードバック	30回目	
15回目	レビューと総括、次のステップの計画	31回目	
16回目		32回目	
授業教材等:	動画編集アプリ、PC、スマホ		

講義名:	選択科目A(社会貢献)	講義時間数: 38時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示・種村 誠	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	選択科目Aは、まず①動画作成と②社会貢献のどちらかを選択する。 ②社会貢献を選択した学生は、「三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG」の3つの活動場所から1つを選択する。		
講義概要:	教育機関(小学校・幼稚園)、一般社団法人等と協働し、抱えている課題を解決できるように活動を実施する。その中で、地域の活性化に繋げることを目指していく。		
到達目標:	活動を通じて、教育機関、一般社団法人の方々から必要とされる人財になること。 そして活動終了後、活動報告を学内で行き、お互いに共有し、財産にしておく。 (出来れば教育機関、一般社団法人の代表の方にプレゼン発表に参加して頂く)		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	授業目的の共有、活動場所のプレゼン、活動場所の選択	17回目	活動報告書の作成(プレゼンテーション)
2回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	18回目	活動報告書の作成(プレゼンテーション)
3回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	19回目	活動報告会(プレゼン発表)
4回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	20回目	
5回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	21回目	
6回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	22回目	
7回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	23回目	
8回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	24回目	
9回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	25回目	
10回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	26回目	
11回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	27回目	
12回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	28回目	
13回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	29回目	
14回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	30回目	
15回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	31回目	
16回目	活動報告書の作成(プレゼンテーション)	32回目	
授業教材等:	筆記用具、プリント教材		



講義名:	TKP I A①	講義時間数: 60時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 4単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	TKP…外部講師(一般社団法人未来創成学院理事 三宅範行氏)による授業		
講義概要:	TKP…県内における地域課題の解決や地域活性化を目指す。またその過程の中で、岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーする。		
到達目標:	TKP…岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーすることで、他団体(高校・大学・一般)の活動を学んだり、外部評価を受けたりしながら、より良いビジネスプランを企画できるようになる。また、プランを企画するだけでなく、実際に活動することで本質的な地域課題解決を目指すことを目標とする。		

講義スケジュール(変更の可能性有り)

1回目	探求活動・業界研究導入	17回目	業界研究・プレゼン資料作成	33回目	
2回目	テーマ設定・行動計画	18回目	業界研究・プレゼン資料作成	34回目	
3回目	業界研究・プレゼン資料作成	19回目	最終発表	35回目	
4回目	業界研究・プレゼン資料作成	20回目	最終発表	36回目	
5回目	業界研究・プレゼン資料作成	21回目		37回目	
6回目	業界研究・プレゼン資料作成	22回目		38回目	
7回目	業界研究・プレゼン資料作成	23回目		39回目	
8回目	業界研究・プレゼン資料作成	24回目		40回目	
9回目	業界研究・プレゼン資料作成	25回目		41回目	
10回目	業界研究・プレゼン資料作成	26回目	6~7月に造山古墳ボランティア アガイド  10月に気球プロジェクト	42回目	
11回目	業界研究・プレゼン資料作成	27回目		43回目	
12回目	業界研究・プレゼン資料作成	28回目		44回目	
13回目	中間発表	29回目		45回目	
14回目	中間発表	30回目		46回目	
15回目	業界研究・プレゼン資料作成	31回目		47回目	
16回目	業界研究・プレゼン資料作成	32回目		48回目	

授業教材等:

講義名:	キッズビジネスパーク I A-①	講義時間数: 60時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童 望未	単位数: 4単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	はたらくとは?を自分なりに考えていき、進路選択に活かす。 外部企業と協働する実践的な学びを経て、経験値の可視化、共有、キャリア形成を図る。		
到達目標:	企業との協働を通じて社会の仕組みや企業を多角的に見ることができる。 体験談を交えた自己PRを語るができる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション、AiGROW受検	17回目	企画検討⑥
2回目	AiGROWフィードバック	18回目	企画決定、企業担当者様との交流
3回目	訪問先企業紹介、企業調べ①	19回目	
4回目	企業調べ②	20回目	
5回目	企業調べ③	21回目	
6回目	マナー講座	22回目	
7回目	企業訪問、AiGROW受検	23回目	
8回目	訪問振り返り、AiGROWフィードバック	24回目	
9回目	キッズビジネスパーク趣旨説明	25回目	
10回目	出店企業様との交流、会社説明・座談会	26回目	
11回目	企画検討①	27回目	
12回目	企画検討②	28回目	
13回目	企画検討③	29回目	
14回目	企画中間発表	30回目	
15回目	企画検討④	31回目	
16回目	企画検討⑤	32回目	
授業教材等:	オリジナルプリント、個人用ノートパソコン		

講義名:	業界研究 I A-①	講義時間数:	60時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	横田 悟・安廣 啓示	単位数:	4単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習			実施時期:	2024年度 前期
認定方法:	その他(外部評価・出席率・提出物等を得点化)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	無				
備考:	フィールドワーク、官庁訪問など学外に出て活動を実施。				
講義概要:	業界研究…希望する官庁、企業およびその業界について研究し、職業知識を深めると同時に自身の職業観、就職後のビジョンについて考える。活動内容のプレゼン発表を行う。				
到達目標:	業界研究…目指す業界、職業について正しい知識を身につけ、現状を理解したうえで自身のビジョンをもつ。業界の特性や求められる資質を理解することで、ミスマッチを減らす。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	希望する官庁、企業およびその業界の選択	17回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
2回目	活動計画書の作成	18回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
3回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	19回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
4回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	20回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
5回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	21回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
6回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	22回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
7回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	23回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
8回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	24回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
9回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	25回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク		
10回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	26回目	活動報告書(プレゼンテーション)作成		
11回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	27回目	活動報告書(プレゼンテーション)作成		
12回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	28回目	活動報告書(プレゼンテーション)作成		
13回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	29回目	活動報告書(プレゼンテーション)作成		
14回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	30回目	最終発表		
15回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	31回目			
16回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	32回目			
授業教材等:					

講義名:	選択科目B(体育)	講義時間数: 38時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	実技・実習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目 <input type="radio"/>
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: スポーツクラブ勤務歴:18年
追試験実施:	無		
備考:	・運動ができる服装・シューズなどが用意できていない場合は、見学とする。(欠席ではない)		
講義概要:	・生涯にわたって運動やスポーツに親しむのに必要な素養と健康・安全に生きていくのに必要な身体能力、知識などを身に付ける。		
到達目標:	・社会人となった時に必要な体力やストレス解消法を身につける。 ・自らの行動を振り返り、改善ポイントを自ら探し出すことができる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	施設を利用して体力向上を図る(登山・外部マラソンなどに出かける場合もある)		
授業教材等:	体育館、ミライアス		

講義名:	選択科目B(パソコン)	講義時間数: 38時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	後田 祥吾	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	実技・実習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目 <input type="radio"/>
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験: 後田 パソコン教室 勤務歴3年
追試験実施:	無		
備考:	授業・単位認定試験共にパソコン必須。 講義後半にて実習課題を設けるので、その提出をもって単位認定とみなす。		
講義概要:	PC全般・Wordの基本的な使用・操作方法を学ぶ。		
到達目標:	将来的に必要となるPC基本操作を習得する。 Wordを使用し、基本的なビジネス文書が作成できる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	オリエンテーション	17回目	単位認定課題①
2回目	PC基礎操作①	18回目	単位認定課題②
3回目	PC基礎操作②	19回目	単位認定課題③
4回目	PC基礎操作③	20回目	
5回目	ショートカットキー①	21回目	
6回目	ショートカットキー②	22回目	
7回目	Word基礎操作①	23回目	
8回目	Word基礎操作②	24回目	
9回目	Word基礎操作③	25回目	
10回目	Word基礎操作④	26回目	
11回目	Word基礎操作⑤	27回目	
12回目	Word基礎操作⑥	28回目	
13回目	文書作成実習①	29回目	
14回目	文書作成実習②	30回目	
15回目	文書作成実習③	31回目	
16回目	文書作成実習④	32回目	
授業教材等:	個人用ノートパソコン		

講義名:	一般知能実践(数的処理)IA-①	講義時間数: 15時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	提出回数の2割に提出が満たなければ、単位を認めないこととする。		
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「数的処理」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出をさせる。		
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身に付けさせる。 ②計画的に演習に取り組み、期日までに目標を達成させる計画性を身に付けさせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	数的処理の演習問題を4月~9月の間に出す。		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	一般知能実践(判断推理) IA-①	講義時間数: 15時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	提出回数の2割に提出が満たなければ、単位を認めないこととする。 指示通りのやり方ができていなければ再提出の可能性あり。		
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「判断推理」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身に付けさせる。 ②計画的に演習に取り組み、記述までに目標を達成させる計画性を身に付けさせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	「対応関係」演習問題		
	「試合と勝敗」演習問題		
	「順位・順序」演習問題		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	一般知能実践(政治経済)IA-①	講義時間数: 15時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童 望未・種村 誠	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2024年度 前期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	問題直しができている場合、再提出とする。 期限内に提出、再提出ができない場合は単位取得を不可とする。		
講義概要:	政治経済について、单元ごとに過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	自学自習の学習習慣を身に付けさせる。 計画的に演習に取り組み、期日までに目標を達成させる計画性を学ばせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	单元ごとに政治経済の過去問や演習型の課題を課す。		
授業教材等:	オリジナル教材		



講義名:	数的推理 I A-②	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示・後田 祥吾	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 通年
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	追試日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。		
到達目標:	基本的な計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な姿勢を身に着ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	濃度算④		
2回目	濃度算⑤		
3回目	濃度算⑥		
4回目	濃度算⑦		
5回目	仕事算①		
6回目	仕事算②		
7回目	仕事算③		
8回目	仕事算④		
9回目	仕事算⑤		
10回目	仕事算⑥		
11回目	仕事算⑦		
12回目	速さ①		
13回目	速さ②		
14回目	試験対策		
15回目	単位認定試験		
16回目			
授業教材等:			

講義名:	政治経済 I A-②	講義時間数: 32時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童 望未・種村 誠	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 通年
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要		
備考:	試験日に公欠(又は公欠に準ずる欠席が認められる場合、後日に試験受験が可能。 授業内確認テストの再テスト、再々テストを放課後に実施する場合あり。 放課後の再テスト等無断欠席の場合は授業時間欠席に相当させる可能性あり。		
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する。 オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングする。		
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身に付け、日本および世界のニュースに対する自らの意見をもつ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。 チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に付ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	市場経済①		
2回目	市場経済②		
3回目	市場経済③ 確認テスト		
4回目	国会①		
5回目	国会②		
6回目	国会③		
7回目	国会④ 確認テスト		
8回目	内閣①		
9回目	内閣②		
10回目	内閣③		
11回目	内閣④ 確認テスト		
12回目	裁判所①		
13回目	裁判所②		
14回目	裁判所③		
15回目	裁判所④ 確認テスト		
16回目	単位認定試験		
授業教材等:	オリジナルテキスト		

講義名:	文章理解・作成	講義時間数: 60時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示・後田 祥吾	単位数: 4単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 通年
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	公務員試験の長文読解問題、作文試験等に対応する基礎的な文章力を学ぶ。 漢字や熟語の理解を行い、きれいに書く。実践として、外部添削の作文を書く。(3回分)		
到達目標:	長文読解問題で要旨把握、内容把握ができる。 基礎的な語彙・漢字等を習得し、作文等で使いこなすことができる。 字をきれいに書くことができる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	文章理解の導入	17回目	文章作成基礎・長文読解基礎
2回目	文章作成基礎・長文読解基礎	18回目	文章作成基礎・長文読解基礎
3回目	文章作成基礎・長文読解基礎	19回目	文章作成基礎・長文読解基礎
4回目	文章作成基礎・長文読解基礎	20回目	文章作成基礎・長文読解基礎
5回目	文章作成基礎・長文読解基礎	21回目	長文読解基礎・語彙習得
6回目	文章作成基礎・長文読解基礎	22回目	長文読解基礎・語彙習得
7回目	文章作成基礎・長文読解基礎	23回目	長文読解基礎・語彙習得
8回目	文章作成基礎・長文読解基礎	24回目	長文読解基礎・語彙習得
9回目	文章作成基礎・長文読解基礎	25回目	長文読解基礎・語彙習得
10回目	文章作成基礎・長文読解基礎	26回目	長文読解基礎・語彙習得
11回目	文章作成基礎・長文読解基礎	27回目	長文読解基礎・語彙習得
12回目	文章作成基礎・長文読解基礎	28回目	長文読解基礎・語彙習得
13回目	文章作成基礎・長文読解基礎	29回目	長文読解基礎・語彙習得
14回目	文章作成基礎・長文読解基礎	30回目	長文読解基礎・語彙習得
15回目	文章作成基礎・長文読解基礎	31回目	
16回目	文章作成基礎・長文読解基礎	32回目	
授業教材等:	オリジナル教材等		

講義名:	検定対策 I A	講義時間数: 74時間	受講コース名: 公務員ビジネス		
担当:	安廣 啓示・後田 祥吾	単位数: 4単位	学年: 1年		
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 通年		
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目		
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:		
追試験実施:	無				
備考:					
講義概要:	日本漢字能力検定3級、ビジネス検定ジョブパス3級を取得するために過去間に取り組む。CS試験(コンピューター・サービス技能評価試験)3級(表計算)に関しては、講義形式で進めていく。				
到達目標:	日本漢字能力検定3級を取得し、最低限の漢字の把握と使い方の習得を目指す。ビジネス検定ジョブパス3級を取得し、就職した後に生きるビジネスマナー(電話対応、ビジネスメールなど)の習得を目指す。CS試験(コンピューター・サービス技能評価試験)3級(表計算)を取得し就職した後に生きるPCスキルの習得を目指す。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	動機づけ・漢字検定過去問1回目の実施	17回目	ビジネス能力検定過去問の実施4回目	33回目	CS試験(表計算)模擬試験の実施
2回目	漢字検定過去問の実施2回目	18回目	ビジネス能力検定過去問の実施5回目	34回目	CS試験(表計算)模擬試験の実施
3回目	漢字検定過去問の実施3回目	19回目	ビジネス能力検定過去問の実施6回目	35回目	CS試験(表計算)模擬試験の実施
4回目	漢字検定過去問の実施4回目	20回目	ビジネス能力検定過去問の実施7回目	36回目	CS試験(表計算)模擬試験の実施
5回目	漢字検定過去問の実施5回目	21回目	ビジネス能力検定過去問の実施8回目	37回目	CS試験(表計算)受験(国際情報館にて)
6回目	漢字検定過去問の実施6回目	22回目	ビジネス能力検定過去問の実施9回目	38回目	
7回目	漢字検定過去問の実施7回目	23回目	ビジネス能力検定過去問の実施10回目	39回目	
8回目	漢字検定過去問の実施8回目	24回目	ビジネス能力検定過去問の実施11回目	40回目	
9回目	漢字検定過去問の実施9回目	25回目	ビジネス能力検定ジョブパス3級CBT受験	41回目	
10回目	漢字検定過去問の実施10回目	26回目	CS試験(表計算)講義	42回目	
11回目	漢字検定過去問の実施11回目	27回目	CS試験(表計算)講義	43回目	
12回目	漢字検定過去問の実施12回目	28回目	CS試験(表計算)講義	44回目	
13回目	漢字検定過去問の実施13回目	29回目	CS試験(表計算)講義	45回目	
14回目	ビジネス能力検定過去問の実施1回目	30回目	CS試験(表計算)講義	46回目	
15回目	ビジネス能力検定過去問の実施2回目	31回目	CS試験(表計算)講義	47回目	
16回目	ビジネス能力検定過去問の実施3回目	32回目	CS試験(表計算)模擬試験の実施	48回目	
授業教材等:	オリジナル教材等				

講義名:	総合演習 I A	講義時間数: 24時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示・後田 祥吾	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 通年
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	総合的な対策を随時行う(公務員試験エントリーシート作成、各教科の補足的な内容、採用試験受験スケジュールの作成、業界研究等)		
到達目標:	採用試験合格に向けて、日々見落としてしまう内容を補い、準備が整った状態で受験を行う。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	行動計画表を作成し、各自の行動計画に沿って原則実施する		
授業教材等:	オリジナル教材等		

講義名:	セルフマネジメントIA-②	講義時間数: 47時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	後田 祥吾・安廣 啓示	単位数: 3単位	学年: 1年
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。		
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化		
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	セルフマネジメント I A-③	講義時間数: 18時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	後田 祥吾・安廣 啓示	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習(小テスト・スピーチなど)		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無し		
備考:	原則、全登校日の1限目に実施。日々積み重ねていくことが最も重要な科目であるため、試験ではなく、出席率・提出物を評価の対象とする。		
講義概要:	日直主導で企業朝礼を意識した挨拶・唱和の実施、情報共有・スケジュール確認他朝テストなどの帯学習実施 スピーチによる自己開示を含めた発信力の強化		
到達目標:	自律する力、自ら考える力、行動する力、感謝する心を身につける。 自分の考えを自分の言葉で表現できる。他者の考えを素直に吸収し人間性の幅を広げられる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	唱和・情報共有・小テスト(漢字・一般常識・基礎学力)・スピーチ・ディスカッション ※時期により内容変動有り		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	数的推理 I A-③	講義時間数: 24時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示・後田 祥吾	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合) 日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	追試日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。		
到達目標:	基本的な計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な姿勢を身に着ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	速さ③		
2回目	速さ④		
3回目	速さ⑤		
4回目	速さ⑥		
5回目	速さ⑦		
6回目	速さ⑧		
7回目	速さ⑨		
8回目	速さ⑩		
9回目	場合の数①		
10回目	場合の数②		
11回目	試験対策		
12回目	単位認定試験		
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:			



講義名:	数的推理 I A-④	講義時間数: 22時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示・後田 祥吾	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	追試日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能。授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合あり。		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える。		
到達目標:	基本的な計算を迅速、正確に処理でき、文章から計算式を組み立て解答を示すことができる。難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。チームでの教え合いを通して、コミュニケーション能力、献身的な姿勢を身に着ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	場合の数③		
2回目	場合の数④		
3回目	場合の数⑤		
4回目	場合の数⑥		
5回目	確率①		
6回目	確率②		
7回目	確率③		
8回目	確率④		
9回目	確率⑤		
10回目	試験対策		
11回目	単位認定試験		
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:			

講義名:	判断推理 I A-②	講義時間数: 38時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合) 日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える		
到達目標:	問題を解くプロセスが、仕事を進めていくプロセスとにしているため、どのような段取りを進めれば いいかなどを推理し完成させるための判断を身につける。チームでの教え合いを通して、コミュ ニケーション力、献身的な考え方を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	道順(講義・演習)	17回目	立体図形(講義・演習)
2回目	道順(講義・演習)+確認テスト	18回目	立体図形(講義・演習)+確認テスト
3回目	道順(講義・演習)	19回目	単位認定試験
4回目	道順(講義・演習)+確認テスト	20回目	
5回目	道順(講義・演習)	21回目	
6回目	道順(講義・演習)+確認テスト	22回目	
7回目	平面図形(講義・演習)	23回目	
8回目	平面図形(講義・演習)+確認テスト	24回目	
9回目	平面図形(講義・演習)	25回目	
10回目	平面図形(講義・演習)+確認テスト	26回目	
11回目	立体図形(講義・演習)	27回目	
12回目	立体図形(講義・演習)+確認テスト	28回目	
13回目	立体図形(講義・演習)	29回目	
14回目	立体図形(講義・演習)+確認テスト	30回目	
15回目	立体図形(講義・演習)	31回目	
16回目	立体図形(講義・演習)+確認テスト	32回目	
授業教材等:	オリジナルプリント、公務員ゼミナール(判断推理)		

講義名:	判断推理 I A-③	講義時間数: 22時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合) 日時未定 講義時間数の80%以上出席必要 追試験検定料 1,000円 追試験合格点 50点以上(評価 C)		
備考:	試験日に公欠(または公欠に準ずる欠席)が認められる場合、後日に試験受験可能 授業内確認テストの再テストを放課後に実施する場合有り		
講義概要:	公務員試験において必要とされる基礎学力(計算力・論理的判断力・読解力)を鍛える		
到達目標:	問題を解くプロセスが、仕事を進めていくプロセスとにしているため、どのような段取りを進めれば いいかなどを推理し完成させるための判断を身につける。チームでの教え合いを通して、コミュ ニケーション力、献身的な考え方を身につける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	平面図形(演習)		
2回目	平面図形(演習)		
3回目	平面図形(演習)		
4回目	平面図形(演習)		
5回目	立体図形(演習)		
6回目	立体図形(演習)		
7回目	立体図形(演習)		
8回目	立体図形(演習)		
9回目	立体図形(演習)		
10回目	立体図形(演習)		
11回目	単位認定試験		
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:	オリジナルプリント、公務員ゼミナール(判断推理)		

講義名:	政治経済 I A-③	講義時間数: 20時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童 望未・種村 誠	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合)日時未定 講義時間数の80%以上出席必要		
備考:	試験日に公欠(又は公欠に準ずる欠席が認められる場合、後日に試験受験が可能。 授業内確認テストの再テスト、再々テストを放課後に実施する場合あり。 放課後の再テスト等無断欠席の場合は授業時間欠席に相当させる可能性あり。		
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する。 オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングする。		
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身に付け、日本および世界のニュースに対する自らの意見をもつ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。 チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に付ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	景気変動①		
2回目	景気変動② 確認テスト		
3回目	金融政策①		
4回目	金融政策②		
5回目	金融政策③ 確認テスト		
6回目	財政政策①		
7回目	財政政策②		
8回目	財政政策③ 確認テスト		
9回目	地方自治①		
10回目	単位認定試験		
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:	オリジナルテキスト		

講義名:	政治経済 I A-④	講義時間数: 20時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童 望未・種村 誠	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	認定試験(筆記)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	有(試験日欠席、またはD評価の場合) 日時未定 講義時間数の80%以上出席必要		
備考:	試験日に公欠(又は公欠に準ずる欠席が認められる場合、後日に試験受験が可能。 授業内確認テストの再テスト、再々テストを放課後に実施する場合あり。 放課後の再テスト等無断欠席の場合は授業時間欠席に相当させる可能性あり。		
講義概要:	公務員試験科目である政治経済について学習する。 オリジナル教材を使用し、講義と課題演習によりトレーニングする。		
到達目標:	政治経済に関する基礎知識を身に付け、日本および世界のニュースに対する自らの意見をもつ。 難解な問題に対し、粘り強くアプローチし解決することができる。 チームでの教えあいを通して、コミュニケーション能力、献身的な考え方を身に付ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	地方自治②		
2回目	地方自治③ 確認テスト		
3回目	政治の諸問題①		
4回目	政治の諸問題② 確認テスト		
5回目	日本経済の発展①		
6回目	日本経済の発展② 確認テスト		
7回目	国際政治①		
8回目	国際政治②		
9回目	国際政治③ 確認テスト		
10回目	単位認定試験		
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:	オリジナルテキスト		

講義名:	TKP I A②	講義時間数:	36時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数:	2単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習			実施時期:	2024年度 後期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	無				
備考:	TKP…外部講師(一般社団法人未来創成学院理事 三宅範行氏)による授業				
講義概要:	TKP…県内における地域課題の解決や地域活性化を目指す。またその過程の中で、岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーする。				
到達目標:	TKP…岡山イノベーションコンテスト(中国銀行・山陽新聞社・岡山ガス主催)にエントリーすることで、他団体(高校・大学・一般)の活動を学んだり、外部評価を受けたりしながら、より良いビジネスプランを企画できるようになる。また、プランを企画するだけでなく、実際に活動することで本質的な地域課題解決を目指すことを目標とする。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	企画+フィールドワーク	17回目	プレゼン発表		
2回目	企画+フィールドワーク	18回目	プレゼン発表		
3回目	企画+フィールドワーク	19回目			
4回目	企画+フィールドワーク	20回目			
5回目	企画+フィールドワーク	21回目			
6回目	企画+フィールドワーク	22回目			
7回目	ボランティア活動	23回目			
8回目	ボランティア活動	24回目			
9回目	ボランティア活動	25回目			
10回目	ボランティア活動	26回目			
11回目	ボランティア活動	27回目			
12回目	プレゼン発表準備	28回目			
13回目	プレゼン発表準備	29回目			
14回目	プレゼン発表準備	30回目			
15回目	プレゼン発表準備	31回目			
16回目	プレゼン発表準備	32回目			
授業教材等:					

講義名:	キッズビジネスパーク I A-②	講義時間数: 36時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童 望未	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	座学・演習		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	その他(出席率・授業態度・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	はたらくとは?を自分なりに考えていき、進路選択に活かす。 外部企業と協働する実践的な学びを経て、経験値の可視化、共有、キャリア形成を図る。		
到達目標:	企業との協働を通じて社会の仕組みや企業を多角的に見る。 体験談を交えた自己PRを語るができる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	キッズビジネスパーク概要説明		
2回目	当日に向けた準備①		
3回目	当日に向けた準備②		
4回目	当日に向けた準備③		
5回目	キッズビジネスパーク当日、AiGROW受検		
6回目	振り返り、AiGROWフィードバック		
7回目	校内発表準備①		
8回目	校内発表準備②		
9回目	校内発表準備③		
10回目	学内プレゼン発表①		
11回目	学内プレゼン発表②		
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:	オリジナルプリント、個人用ノートパソコン		

講義名:	業界研究 I A-②	講義時間数:	36時間	受講コース名:	公務員ビジネス
担当:	横田 悟・安廣 啓示	単位数:	2単位	学年:	1年
講義形式:	座学・演習			実施時期:	2024年度 後期
認定方法:	その他(外部評価・出席率・提出物等を得点化)			実務経験者 担当科目	
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)			実務経験:	
追試験実施:	無				
備考:	フィールドワーク、官庁訪問など学外に出て活動を実施。				
講義概要:	業界研究…希望する官庁、企業およびその業界について研究し、職業知識を深めると同時に自身の職業観、就職後のビジョンについて考える。活動内容のプレゼン発表を行う。				
到達目標:	業界研究…目指す業界、職業について正しい知識を身につけ、現状を理解したうえで自身のビジョンをもつ。業界の特性や求められる資質を理解することで、ミスマッチを減らす。				
講義スケジュール(変更の可能性有り)					
1回目	希望する官庁、企業およびその業界の選択	17回目	活動報告書(プレゼンテーション)作成		
2回目	活動計画書の作成	18回目	最終発表		
3回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	19回目			
4回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	20回目			
5回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	21回目			
6回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	22回目			
7回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	23回目			
8回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	24回目			
9回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	25回目			
10回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	26回目			
11回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	27回目			
12回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	28回目			
13回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	29回目			
14回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	30回目			
15回目	他業種、異業種の業界研究、フィールドワーク	31回目			
16回目	活動報告書(プレゼンテーション)作成	32回目			
授業教材等:					



講義名:	模擬試験 I A	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	種村 誠・後田 祥吾	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:			
講義概要:	公務員試験の教養模擬試験(45問、100分、マークシート方式)および適性試験(120問、20分、マークシート方式)を行う。		
到達目標:	公務員試験受験に向けて実践的な訓練を積む。 学生が目標を持ち、計画的に目標達成する習慣を作るとともに、復習を含めた学習習慣を作る。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	適性試験(120問、120分、マークシート方式)および教養模擬試験(45問、100分、マークシート)方式		
	年に数回、外部添削を含めた全国模試を実施する予定。		
授業教材等:			

講義名:	選択科目C(動画作成)	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	この授業では、動画編集の基本原則から始めて、プロフェッショナルな技術やツールを習得します。映像の編集テクニックや効果の適用方法、ストーリーテリングの重要性などを実践的に学び、クリエイティブな動画制作のスキルを身に付けます。最新のソフトウェアを使用し、実践的なプロジェクトを通じて学びを深めます。		
講義概要:	この授業では、動画編集の基礎から応用までを網羅し、無料アプリを使用して実践的な技術を学びます。映像編集の基本原則や効果の適用方法、ストーリーテリングの重要性などに焦点を当て、実践的なプロジェクトを通じてクリエイティブな動画制作のスキルを磨きます。		
到達目標:	動画編集アプリを自信を持って操作できる能力を身に付ける。 映像編集の基本原則や技術を理解し、クリエイティブな編集スキルを獲得する。 動画制作におけるストーリーテリングの重要性を理解し、ストーリーの構築能力を向上させる。 地域の魅力を見つけ配信する		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	企画+フィールドワーク		
2回目	企画+フィールドワーク		
3回目	企画+フィールドワーク		
4回目	企画+フィールドワーク		
5回目	企画+フィールドワーク		
6回目	企画+フィールドワーク		
7回目	企画+フィールドワーク		
8回目	動画編集		
9回目	動画編集		
10回目	動画編集		
11回目	動画編集		
12回目	動画編集		
13回目	動画編集		
14回目	SNSで発信、または、プレゼン発表		
15回目	SNSで発信、または、プレゼン発表		
16回目			
授業教材等:	動画編集アプリ、PC、スマホ		

講義名:	選択科目C(社会貢献)	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示・種村 誠	単位数: 1単位	学年: 1年
講義形式:	演習・実技		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	選択科目Aは、まず①動画作成と②社会貢献のどちらかを選択する。 ②社会貢献を選択した学生は、「三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG」の3つの活動場所から1つを選択する。		
講義概要:	教育機関(小学校・幼稚園)、一般社団法人等と協働し、抱えている課題を解決できるように活動を実施する。その中で、地域の活性化に繋げることを目指していく。		
到達目標:	活動を通じて、教育機関、一般社団法人の方々から必要とされる人財になること。 そして活動終了後、活動報告を学内で行い、お互いに共有し、財産にしておく。 (出来れば教育機関、一般社団法人の代表の方にプレゼン発表に参加して頂く)		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	授業目的の共有、活動場所のプレゼン、活動場所の選択	17回目	
2回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	18回目	
3回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	19回目	
4回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	20回目	
5回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	21回目	
6回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	22回目	
7回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	23回目	
8回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	24回目	
9回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	25回目	
10回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	26回目	
11回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	27回目	
12回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	28回目	
13回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	29回目	
14回目	各班での行動(三門小学校、三門幼稚園、一般社団法人SGSG)	30回目	
15回目	活動報告書の作成を行い、提出する	31回目	
16回目		32回目	
授業教材等:	筆記用具、プリント教材		

講義名:	一般知能実践(数的処理)IA-②	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	提出回数の2割に提出が満たなければ、単位を認めないこととする。		
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「数的処理」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出をさせる。		
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身に付けさせる。 ②計画的に演習に取り組み、期日までに目標を達成させる計画性を身に付けさせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	数的処理の演習問題を10月~2月の間に出す。		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	一般知能実践(判断推理)IA-②	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	服部 成志	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	提出回数の2割に提出が満たなければ、単位を認めないこととする。 指示通りのやり方ができていなければ再提出の可能性あり。		
講義概要:	公務員試験の中でも重要な科目の一つである「判断推理」について、毎月過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	①自学・自習の学習習慣を身に付けさせる。 ②計画的に演習に取り組み、記述までに目標を達成させる計画性を身に付けさせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	「位置・方位」演習問題		
	「命題」演習問題		
	「図形」演習問題		
授業教材等:	オリジナルプリント		

講義名:	一般知能実践(政治経済)IA-②	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	小童 望未・種村 誠	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	問題直しができている場合、再提出とする。 期限内に提出、再提出ができない場合は単位取得を不可とする。		
講義概要:	政治経済について、单元ごとに過去問や演習型の課題を課し、採点・直しをさせた状態で提出させる。		
到達目標:	自学自習の学習習慣を身に付けさせる。 計画的に演習に取り組み、期日までに目標を達成させる計画性を学ばせる。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
毎回共通	单元ごとに政治経済の過去問や演習型の課題を課す。		
授業教材等:	オリジナル教材		

講義名:	春期合宿 I	講義時間数: 30時間	受講コース名: 公務員ビジネス
担当:	安廣 啓示・後田 祥吾	単位数: 2単位	学年: 1年
講義形式:	演習		実施時期: 2024年度 後期
認定方法:	その他(出席率・提出物等を得点化)		実務経験者 担当科目
評価:	S=90点以上、A=80~89点、B=70~79点、C=50~69点、 D=50点未満(単位不認定)		実務経験:
追試験実施:	無		
備考:	合宿費については変動があるため、教材費ではなくその都度徴収する。		
講義概要:	3/11~3/13にかけて2泊3日の勉強合宿を実施する。(場所はまだ未定)		
到達目標:	公務員試験科目を集中的に取り組み、学力の底上げを図る。 特に主要三科目(数的処理、判断推理、政治経済)の学力定着を図る。 1つの目標に向け、周囲と協力し協調性・コミュニケーション能力を身に付ける。		
講義スケジュール(変更の可能性有り)			
1回目	問題演習を中心とした講義。(1日目:10時間)		
2回目	問題演習を中心とした講義。(2日目:14時間)		
3回目	問題演習を中心とした講義。(3日目:6時間)		
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			
8回目			
9回目			
10回目			
11回目			
12回目			
13回目			
14回目			
15回目			
16回目			
授業教材等:	オリジナル教材等		